

みんなで支え合い、一人ひとりが大切にされる地域福祉
だれもが安心・安全に暮らせる地域社会をめざして

かすや社協だより

“KASUYA Newsletter” from KASUYA Council of Social Welfare



いつもの支え合いが 災害時の備えにもなる

詳しくは P4 へ

災害ボランティアセンター設置訓練は、令和3年から毎年1回、糟屋地区(古賀市を含む)社協と県社協と合同で開催しています。

内容・場所は、毎年違いますが、現在、多発する大規模災害に備えて、各社協職員の能力向上を目指し実施しています。

今回の訓練では、久山町社協の災害マニュアルをもとに久山会館で、災害ボランティアセンター職員役と、ボランティア役に分かれ、より実践に近い訓練となりました。

日 時：令和6年3月9日(土) 10時～16時

場 所：久山会館2階ほか

講 師：一般社団法人九州防災パートナーズ
代表理事 藤澤 健児 氏

参加者：55名



社会福祉法人
粕屋町社会福祉協議会
KASUYA COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

TOPICS

- | | |
|-------------------|--------------|
| 2 会長挨拶・ご報告 | 6 ボランティア団体紹介 |
| 3 シャトルバスが新しくなりました | 7 社協ダイアリー |
| 4 災害ボランティアセンター | 8 お知らせ |
| 5 共同募金の使いみち・実施事業 | |

会長挨拶

Chairman's Greetings



地域福祉の推進で安心な粕屋町に

町民の皆様におかれましては、コロナ禍による3年間の停滞を経て、再び落ち着いた暮らしを取り戻されていることと、心からお慶び申し上げます。

だれもが安心して暮らすことを目指している福祉は、地域における課題に直面しています。粕屋町では全国平均と比べて顕著ではありませんが、住民の高齢化、少子化が緩やかに進むことによって暮らしの基盤である世帯の孤立化が無視できなくなっています。また、人口の自然増や社会増は顕著であるという予測もある中で、地域社会における福祉を維持増進するためには、人と人がつながり合える地域の構築が課題となります。

第二次粕屋町地域福祉計画・粕屋町地域福祉活動計画が目指す「地域共生社会」は、だれでもない自分たち一人一人が支え合う自助・互助・共助によって作り上げることができるものとされています。

私たちが暮らしている粕屋町が心豊かであるために、暮らしの場で少しの迷惑をお願いする人と、それをお互

い様と引き受ける人がつなげる仕組みづくりをはじめ、安心で安全な暮らしを支えるために、地域で隣り合わせに住む一人ひとりが私たちという人間らしいつながりを気軽に持てるような基盤づくりを進めています。

粕屋町社会福祉協議会は、皆様の温かな願いに寄り添いながら安心の町づくりに必要な具体的活動を進めてまいります。更なるご理解とご支援をお願いしますと共に、皆様のますますのご健康とご多幸を祈念いたします。

「ちかくの いのちを きにかけて
ふつうの くらしに しあわせを」

社会福祉法人 粕屋町社会福祉協議会
会長 森 紘

ご報告

Report

令和5年度 第2回 評議員会

開催日：令和6年3月29日(金)

開催場所：粕屋町福祉センター 2階 大広間A B

議事

議案第1号：令和5年度一般会計収入支出補正予算(案)について

議案第2号：令和6年度事業方針並びに事業計画(案)について

議案第3号：令和6年度一般会計収入支出予算(案)について

全て議決

詳しくはホームページの「予算・決算等公開情報」をご覧ください



ご寄付・ご寄贈

●ご寄付 阿部 美也子 様 小西 春吉 様

●ご寄贈 おもちゃ 匿名
千鳥饅頭 株式会社 千鳥屋本家原町店 様



ご寄付・ご寄贈ありがとうございます。

苦情結果の公表について

社会福祉法第82条の規定により、粕屋町社会福祉協議会では、利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えています。

令和5年度 公表報告 0件 苦情はありません

New shuttle bus

シャトルバスが 新しくなりました

粕屋町福祉センターとイオンモール福岡を往復する「シャトルバス(1日9便)」が10人乗りから14人乗りになりました。土曜日・日曜日・祝日も運行しています。

ただし、年末年始12/29～1/3は運休します。

また、粕屋町を巡回するふれあいバスも運行しています。ぜひ、ご利用ください。



粕屋町福祉センター
← 粕屋町役場 →
イオンモール福岡

《運行コース》

ふれあいバス



町内を4コースに分け、各コース1日4本、2台のバスで一方方向に巡回しています。近くのバス停をぜひチェックしてみてください。

《運行コース》

各コースの
場所・時刻表はコチラ

【Aコース】

大隈・上大隈・江辻
方面



【Bコース】

乙仲原東・甲仲原・
酒殿・花ヶ浦 方面



【Cコース】

原町・内橋・阿恵・
柚須・乙仲原西 方面



【Dコース】

戸原・内橋・長戸
方面



ご注意・お願い

- バスの乗降は指定の停留所でおこなってください。停留所以外では乗降できません。
- ふれあいバスは、ふれあいバス時刻表により運行しておりますが、季節や道路事情等により、やむを得ず遅延や運行を中止する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 咳や37.5度以上の発熱など、体調不良を感じている方はご乗車をお控えください。

みなさんが気持ちよくご利用できるようご協力をお願いします

災害ボランティアセンター

disaster volunteer center

災害ボランティアセンターとは？

近年の広域、大規模な災害時には被災地に「災害ボランティアセンター」を設置されることが多くなってきており、その活動は広く一般的に認識されるようになりました。災害ボランティアセンターは、災害時に、被災地の社会福祉協議会が中心となり開設されることが多く、被災地でのボランティア活動を円滑に進めるための拠点になっています。災害ボランティアセンターでは、「被災者の困りごと」と被災者のお手伝いをしたい「ボランティア」の両者をつなぐ役割を果たしています。

糟屋地区災害ボランティアセンター 設置訓練の様子

災害ボランティア活動 服装の注意点

受付班

活動に来られたボランティアさんの受付・登録を行います。



オリエンテーション・マッチング班

ボランティア活動の際の心構えや注意事項などの説明を行います。支援先での作業内容を説明して、当日来られたボランティアさんと支援先の組み合わせを行います。



資材班

支援先で使用する資材の貸出しを行います。

支援先へボランティアさんを送り出し → ボランティアさんが支援先から帰着 → 資材返却 → 支援先の活動内容の報告 → ボランティア活動終了

【参加職員の声】 昨年度、久留米市災害ボランティアセンターの運営支援へ行きましたが、担当したことのない班での活動は大変難しく、今回の運営訓練に参加することで、センターの役割を班毎に理解することができ、また、全体の流れを把握することができました。どの役割にいても横断的に対応できるようにすることや班同士の連携の必要性を感じました。ボランティア側を経験することは、客観的にスムーズな運営について考えるきっかけとなりました。

この訓練を通じて、得た知識・経験を今後の災害ボランティアセンターで生かしていきます。



廃棄するものでも、家族にとっては大切な思い出のつまった物ばかりです。取り扱いには十分配慮しましょう。

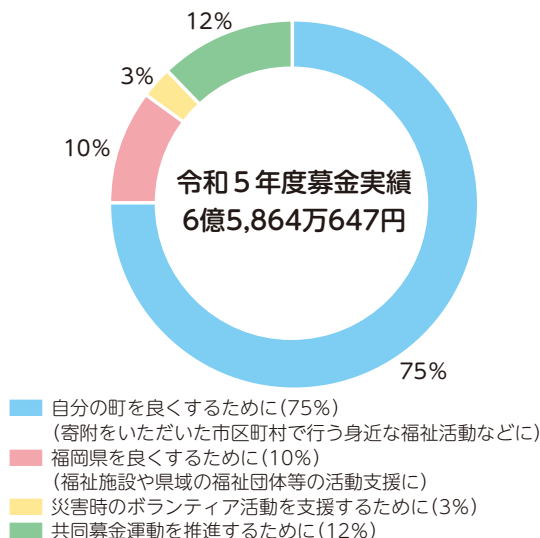
被災された方の気持ちやペースにあわせよう／お話をたっぷり聞こう／真剣さと笑顔を織り交ぜて／塩分と休憩はしっかりとろう

(出典) 認定特定非営利活動法人 レスキューストックヤード

共同募金の使いみち・実施事業

How to use central community chest / implemented project

福岡県共同募金の使いみち



令和5年度 共同募金配分金のお知らせ

令和5年度赤い羽根共同募金では、多くの方々から心のこもった募金が寄せられ、その募金をもとに粕屋町社会福祉協議会が福岡県共同募金会に申請を行い下記の配分が決定いたしました。あらためて厚くお礼申し上げます。

令和6年度 社協事業費として 8,980,400円

粕屋町の共同募金の募金額や使いみちは、赤い羽根データベース「はねっと」で見ることができます。

右のQRコードよりご確認ください。



福祉委員研修会

開催日：令和6年1月27日(土)

内容：①生活支援体制整備事業についての説明
②校區別討議「高齢者の見守り」について

場所：粕屋町福祉センター

参加者：41名

粕屋町社会福祉協議会では、福祉委員の方々を対象に小地域福祉活動等に関する理解を深めてもらうために、研修会を年に1回開催しています。

今年度は、生活支援体制整備事業についての説明を行い、理解を深め、現在の活動の延長線上にこの事業があることにご理解いただきました。また、校區別討議では「高齢者の見守り」を中心に、他の地区との意見交換・情報共有等が行われ、今後の活動に活かされるのではないかと考えています。

研修会を通して、隣近所の人が悩んでいたら、地域で声をかけ合い、社会的孤立のない、住民同士のつながりのある地域づくりをみなさまと共に目指します。参加していただいた福祉委員のみなさま、ありがとうございました。

参加者の感想

- 皆さんの活動を聞いて、道の途中など、もっと意識をもって、見守りをやりたいと思いました。
- 引きこもりの方の事も興味を持ちました。
- サロンの参加やたよりあいを活用して、見守り支援していきたいと改めて感じました。
- コロナも落ち着いたので、以前実施していた集まりができたらいいなと思います。
- 他の区の活動が分かって良かったです。など



子どもの発達に関する勉強会

開催日：令和6年2月24日(土)

講演：「発達障がいの『脳タイプ』を知ろう」

～子育ての「どうするの?」がわかる、「どうしたらいいの?」のヒントになる～

講師：カウンセリングルーム小箱 坂口 美由紀 氏

場所：粕屋町福祉センター

参加者：31名

粕屋町社会福祉協議会では、発達に障がいのある、疑いのあるお子さまを持つ保護者さまの不安解消ために勉強会を年に1回開催しています。

今回の勉強会では発達障がいの脳タイプ(脳機能の特性)についてと、それに合わせた子育てや支援を学びました。

この勉強会を通じて保護者の皆さまの不安を少しでも取りのぞき、子育てに役立つことを願っています。

坂口先生、参加者のみなさま、託児ボランティアのみなさま、ありがとうございました。

来年も勉強会を予定しておりますので、ぜひご参加ください。お待ちしております。

参加者の感想

- 脳の仕組みから理解ができて、これからの子育てに役立てたいと思った。
- 今回の勉強会である程度の発達障がいについての特性を理解できた。
- 私自身、子どもに対する言葉掛けに悩んでいたが、視覚で示すことを今日からやってみようと思う。

など



ボランティア団体紹介

Volunteer organization introduction

粕屋町ボランティア連絡協議会 登録団体のご紹介

粕屋町社会福祉協議会は、粕屋町ボランティア連絡協議会の活動の支援と基盤整備のための援助を行っています。現在、4団体が登録をされ、各団体、さまざまな活動を行っています。

各団体で会員を募集しています。ボランティア活動にご興味がある方、一緒に活動しませんか。詳しい説明を聞きたい方は、各団体の代表者までご連絡ください。

団体名 友愛訪問の会

活動内容

ひとり暮らしの高齢者、高齢者夫婦の世帯は日常生活の悩みごとや困りごとを抱え込み、孤立しがちです。ボランティアによる訪問を希望される方を対象に、定期的に訪問することで安否確認を行っています。夏には暑中見舞い、冬には年賀はがきを発送しています。

活動日：各区による
各区の民生委員、
福祉委員の協力を得な
がら訪問しています。

代表者：永井 房子

連絡先：092-938-6904



※一部画像を加工しております

メッセージ

歩いて訪問、笑顔の対話でふれあいを深めています。
一緒に活動しませんか。

団体名 しおんの会

活動内容

希望される高齢者等に対して、電話で声の見守りの活動を行っています。外出の機会が減り、話をする機会も減った利用者の方々は待っておられます。また皆さまのお話しは、体験を語られ百科事典だと思うことばかりです。お誕生日の方々には絵ハガキを届けております。

活動日：毎週 月曜日～金曜日
午前 10時～12時(午前の部)
午後 1時～3時(午後の部)

活動場所：粕屋町福祉センター

代表者：宮原 優子

連絡先：092-938-8444



メッセージ

利用者の方と心が一つになって、対話を行っていただきたいと思います。

団体名 ガイアの響

活動内容

町内外の色々なイベントで太鼓の演奏をしています。

活動日：第1～第3土曜日 9時～12時

活動場所：サンレイクかすや音楽室

代表者：久我 純治

連絡先：090-1929-0303

メッセージ

高校生以上で男女問いません。初心者歓迎です。まず、バチを取って太鼓に向ってみて下さい。赤ちゃんが寝てしまう太鼓の音(響)が魅力です。太鼓はバチを通して人の体の中に入り、それから音として発進します。

団体名 七色の会

活動内容

身体障がい者生き甲斐対策支援通所事業(はげみ会)の実施時に参加者の介助及び昼食「給食」を準備しています。

粕屋町身体障がい者福祉協会(粕屋町身障者会)の活動時に介助などで協力しています。

活動日：はげみ会 毎月第4木曜日 10時～14時
粕屋町身障者会行事開催日

活動場所：はげみ会 粕屋町福祉センター

代表者：高木 英子

連絡先：092-938-6844(粕屋町社会福祉協議会)

同時募集：はげみ会の参加者も募集しています。

対象者：粕屋町在住の35歳以上で、身体障がい者手帳をお持ちの方
会費：1回500円(飲食代等)

詳しい内容については、お問合せください。

メッセージ

障がいがある人もない人もみんな仲間です。私達は、長年皆さんと楽しく和気藹々と活動しています。一度見学に来られませんか。お待ちしております。



社協ダイアリー

Kasuya Council of Social Welfare Diary

社協ダイアリーは、「粕屋社協の日常」をお伝えするコーナーです。
日常の活動や事業のこと、働いている人の声、ご登録いただいている団体の活動などをご紹介します。
少しでも、みなさんの暮らしに身近な存在になれば嬉しいです。

高齢者が安心して暮らせる粕屋町をめざして

かすや支え合い通信



生活支援コーディネーター*が、粕屋町の人・場所・活動をもっと知るために
出向き、出会い、ご紹介します。

第9号

団体名 原町公民館 書の教室



活動内容：先生に指導してもらい「書」の上達を目指す、習字教室です。硬筆・半紙・筆ペンなど個人で練習し、出来上がった書を、先生に朱入れしてもらい添削してもらっています。
習字は、姿勢・呼吸を整えて、指に力を入れるため、リハビリにも良いですよ！ また、緊張感をもって取り組むため、脳トレにもなりますので効果バツグンです。

活動日：第1・2・4 木曜日
時 間：14時～19時(内2時間)
場 所：原町公民館(駐車場あり)
問合せ：直接見学にお越し下さい

真剣に「書」に取り組まれている姿が素敵でした。
皆さまありがとうございました！



※生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれています。生活支援・介護予防の活動を知る・つくる・つなげるなどして、高齢者が暮らしやすい地域づくりを住民の皆さまと一緒に進めていきます。

職員募集 Staff Recruit

のびのびルーム

勤務場所	粕屋町福祉センター(粕屋町長者原東6-5-10)
職 種	学童保育指導員
仕 事 内 容	障がい児の学童保育 学校へのお迎えあり(車種:普通車ワゴンタイプ)
雇用形態	パート労働者
必要な資格	普通自動車運転免許
時 給	1,050円 交通費支給(規定あり)
就業時間	14時～18時30分(学校の平常期) 8時30分～18時30分の間の8時間(長期休み等)
休日・休暇	土日祝日 その他+盆・年末年始 ※シフトによる
加入保険等	労災
応募書類	履歴書(写真添付)
お 問 合 せ	お気軽にお問合せください。 粕屋町長者原東6-5-10 粕屋町社会福祉協議会 TEL 092-938-6844(担当:三留)

居宅介護支援事業所

勤務場所	粕屋町福祉センター(粕屋町長者原東6-5-10)
職 種	介護支援専門員(ケアマネジャー)
仕 事 内 容	居宅介護支援事業所におけるケアマネジャー業務全般(請求含む)
雇用形態	嘱託職員
必要な免許資格	介護支援専門員(ケアマネジャー) 普通自動車運転免許
P C ス キ ル	Word、Excelの基本操作
賃 金	基本給(月額平均)215,000円 賞与、交通費支給(規定あり)
就業時間	8時30分～17時
休日・休暇	土日祝日 その他 年末年始 週休二日制 夏季休暇3日・年末年始
加入保険	雇用、労災、健康、厚生
応募書類	履歴書(写真添付)、職務経歴書
お 問 合 せ	お気軽にお問合せください。 粕屋町長者原東6-5-10 粕屋町社会福祉協議会 TEL 092-938-6844(担当:久保山)

お知らせ

2024.06-2024.10

粕屋町社会福祉協議会 公式ホームページ

<https://vc.town.kasuya.fukuoka.jp/syakaifukushi/>

最新情報は、随時ホームページでお知らせします。



心配ごと相談所の開設

6/4、6/18、7/2、7/16、8/6、8/20、9/3、9/17、10/1、10/15

日常生活の悩みや心配ごとなど、弁護士に直接お会いして相談できます。(無料)

開設時間：10時～12時(基本、随時受付。9時30分～11時30分まで)

※一部予約制(10時と11時)

対象者：町内在住者(裁判所で訴訟中、弁護士に依頼済みの方は受付不可)

カラオケB教室の生徒募集

コロナ禍で中止しておりましたが、カラオケB教室が4月から再開しました。現在、生徒を募集しています。皆さまのご参加をお待ちしています。

日時：6/11(火)、6/25(火) 13時30分～15時30分

※7月以降の日程はお問合せください。

年齢：60歳以上 月謝：月1000円 講師：石橋 菊美 先生

内容：レーザーカラオケで自分の好きな歌を楽しく歌えます。

生きがいや仲間づくりを目的に、声を出して脳を活性化させます。



声の広報お届けします

大切な情報を声でお届けしています。音訳ボランティア「ぱーる会」が音訳し、CDやそのまま聞ける再生プレーヤーを貸し出します。社協だより、広報かすやを読むことが難しい方はお問い合わせください。

ふだんのくらしのしあわせ

何気ない毎日に感じる嬉しいことやほっこりすること、本誌の感想等を教えてください。住所、氏名、年齢をご記入の上、はがき・封書・webフォーム・FAXでお寄せください。(応募先はこのページの最下段に記載。令和6年9月30日締切)抽選で粗品をプレゼントします。本誌やホームページで紹介させていただきます。

(住所や氏名は掲載しません)

WEBフォームはこちら→



エンディングホール かぞくの心

まずは斎場のご見学から

ご不明な点・ご質問など
お気軽にお問い合わせください。

現地にて
事前相談
承ります



やすぎ会館 かすや斎場
福岡県糟屋郡粕屋町戸原西1-13-1 (JR伊賀駅前)

☎092-931-3533

原町駅前交差点を伊賀駅方面へ車で約5分



詳細MAPは
コチラ



社協だよりや弊会サイトに掲載する広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

発行 | 社会福祉法人 粕屋町社会福祉協議会(令和6年6月発行)

住所 | 〒811-2317 粕屋町長者原東6-5-10 粕屋町福祉センター内

電話 | 092-938-6844 | FAX | 092-938-6886(受付時間 8時30分～17時 土・日・祝日をのぞく)



この社協だよりは共同募金配分金によって作成されたものです。